



2026. 9. 11. №1472
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011
Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課

1. 県知事他宛に水産施策及び水産予算編成要望書を提出 — 県水産振興推進協議会 —

2026 年度水産施策及び 2027 年度水産予算編成の要望については、漁協・水産関係団体等の要望を取り纏めた後、6 月 26 日開催の県漁協組合長会議にて諮り、直後に開催された実行委員会で承認されました。

承認された要望については、9 月 3 日に本会執行役員（高田会長・大川副会長・鈴木専務・高瀬常任理事）及び東日本信漁連の橋ヶ谷経営管理委員・小松執行役員で静岡県庁を訪ね、水産振興推進協議会の名義で作成した 2026 年度水産施策及び 2027 年度水産予算編成の要望書を斎藤経済産業部長及び横山農林水産統括部長に手交すると同時に鈴木康友県知事宛に提出しました。

今回提出した要望書の要望事項は以下のとおりです。

＜2026 年度水産施策要望＞

①安全性確保のための漁港・港湾整備等 ②水産資源増殖研究の推進 ③漁場環境調査の推進と新たな漁場開発 ④ DX 化推進による水産業への支援 ⑤原油供給不足の影響に対する漁業・水産加工業への支援対策

＜2027 年度水産予算編成要望＞

①県漁連等水産関係団体が行う指導・委託事業に対する支援 ②「資源管理・漁業経営安定事業費」予算の継続確保 ③水産加工業者への支援 ④燃油等並びに電気料金高騰対策の継続的支援 ⑤燃油高騰に伴う融資制度に対する利子助成制度の創出

2. 令和 8 年度 船舶職員養成講習会を開催 — 焼津漁協が開催 —

焼津漁協では、令和 8 年度の「船舶職員養成講習会 3・4・5 級海技士（航海科・内燃機関科）」を下記日程により開催します。

当講習会は、船舶の航行に欠かせない海技士養成のために、例年開催されているものです。

なお、本講習会は海技試験合格を目指す講習会のため、臨時国家試験のみを受験することは出来ません。講習会の日時等については下記のとおりです。

◇開催期間： 3 級 令和 8 年 11 月 16 日～令和 9 年 2 月 26 日

4・5 級 令和 9 年 1 月 5 日～令和 9 年 2 月 26 日

◇申込締切： 3 級 令和 8 年 10 月 30 日 4・5 級 令和 8 年 12 月 11 日

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

◇講習場所：静岡県漁業高等学園 静岡県焼津市小川 3747 - 2 TEL：054 - 627 - 0219

※免許講習は尾道海技学院で実施予定（広島県尾道市）

◇海技士臨時国家試験：令和 8 年 3 月 2 日～

◇免許講習：令和 9 年 3 月中旬予定（3 級の上級英語講習は別途個別に受講）

◇免状交付：令和 9 年 4 月上旬予定

◇問い合わせ：焼津漁協 総務部指導課 TEL：054-628-7115

3. 令和 7 年度の食料自給率を発表 — 農水省・水産庁公表資料からの抜粋 —

農林水産省は、日本における令和 7 年度の食料自給率を発表しました。カロリーベースの食料自給率は、国内供給熱量の減少により前年度から－1%ポイントの 37%と過去最低となりました。特に米の消費量が減少したのが要因です。生産額ベースの食料自給率については、国内生産額の増加により、前年度より 2 ポイント高い 64%となりました。特に、米、畜産物の国内価格上昇に伴い、国内生産額が増加しました。昨年度から新設された摂取熱量ベース食料自給率は、国民一人が日常生活で必要とする熱量（1,850kcal）のうちどの程度が国産で賄われているかを示す指標なのですが、前年度から－1 ポイントの 45%となりました。

水産物自給率（重量ベース）では、食用魚介類で前年比 1 ポイント増の 53%、非食用を含む魚介類全体も 1 ポイント増の 53%となりました。食用魚介類の国内生産量は、まいわし、さんま等の生産量は増加したものの、かつお、さけ類、ぶり類、ほたてがいが減少したため 14.2 万トン減少しました。国内消費仕向量では、輸出量が増加したこともあり、前年度比で 33.8 万トン減少しました。

また、海藻類の国内生産量は、のり類等の生産量が回復したため、1.3 万トン増加しました。国内消費仕向量も前年度比で 1.3 万トン増加し、自給率は 4 ポイント高い 66%となり、国内生産量の増加率が国内消費仕向量の増加率を上回ったことから、自給率は増加する結果となりました。

なお、農林水産省では令和 12 年度（2030 年度）までに、カロリーベースで 45%、生産額ベースで 75%まで食料自給率を高める目標を掲げています。

4. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。

◇退職 9 月 10 日付

▽漁連丸 嶋崎 快

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう